



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 神東塗料株式会社

コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 玉村 隆平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(経理担当)

(氏名) 波多野 健

TEL 06-6429-8474

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,585	△0.2	371	△42.3	478	△35.3	226	△47.9
25年3月期第2四半期	11,609	11.0	644	111.6	738	119.5	434	173.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 368百万円 (△25.2%) 25年3月期第2四半期 492百万円 (174.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	7.31	—
25年3月期第2四半期	14.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	34,732	14,530	40.6	455.01
25年3月期	34,847	14,368	40.0	450.29

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,098百万円 25年3月期 13,952百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	0.00	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	23,400	0.1	1,000	△21.7	1,200	△21.0	680	△17.7	21.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 神之東塗料貿易(上海)有限公司、P  
T.Shinto Paint Indonesia、除外 1社 (社名)

(注)詳細は添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	31,000,000 株	25年3月期	31,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	14,635 株	25年3月期	14,583 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	30,985,366 株	25年3月期2Q	30,986,192 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策等の経済政策の効果により円安・株高による景気回復の兆しがみられるものの、中国経済をはじめ、新興国経済の減速等の影響を受け、さらには円安による原材料価格の上昇傾向も続き、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,585百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。損益面では、営業利益は371百万円（前年同四半期比42.3%減）、経常利益は478百万円（前年同四半期比35.3%減）、四半期純利益は226百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (塗料事業)

アルミ電着塗料はアルミサッシ建材を主としたユーザー向けの出荷が引き続き堅調に推移し、さらには消費税増税による駆け込み需要や大震災復興需要により各ハウスメーカーが増産体制に入ったことにより好調に推移するとともに、主力ユーザーの新規ラインの獲得による当社シェアの拡大などにより、売上は増加いたしました。

工業用電着塗料は、自動車部品、鋼製家具、住宅部材などは消費税増税の駆け込み需要並びに新規需要家の獲得などによる出荷量の増加もあり、売上は増加いたしました。

粉体塗料は新規ライン獲得と既存ユーザーである電器・配電盤業界の生産量増加と新規ライン獲得による出荷量の増加により、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、建材関連と形鋼製品向けの出荷は堅調に推移しましたが、主力の工作機械及び建設機械向けがユーザーの減産が続いており、売上は減少いたしました。

建築塗料は、九州地区での大手ユーザーは堅調に推移したものの、東日本地区での集合住宅等の指名工事が低調であったことや汎用製品の伸びが低く、売上は減少いたしました。

防食塗料は、新設橋梁向けの出荷が一部下期にずれしたことにより、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は総じて好調で、売上は増加いたしました。とくに主力のカラー舗装材、すべり止め材及び段差修正材が堅調に推移しました。また、区画線用はペイントライナーは不調だったものの、溶融材が好調に推移し、売上は大幅に増加いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤は主力ユーザー向けが堅調に推移しましたが、一部で昨年の特需の反動もあり、出荷量は減少しました。スラブ補修材については、東日本地域での主力ユーザー向けが好調に推移したものの、全体としては売上は減少いたしました。

自動車用塗料分野では主力ユーザー向けの出荷が堅調に推移し、売上はほぼ前年並みとなりました。

この結果、塗料事業の売上高は10,705百万円、セグメント利益は479百万円となりました。

(化成品事業)

受託生産している、化成品事業の売上高は879百万円、セグメント損失は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が409百万円増加し、受取手形及び売掛金が887百万円減少したこと等により、34,732百万円（前連結会計年度末比114百万円減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金が470百万円、長期借入金が55百万円増加し、支払手形及び買掛金が755百万円、設備関係支払手形が117百万円減少したこと等により、20,202百万円（前連結会計年度末比276百万円減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、為替換算調整勘定が83百万円増加したこと等により14,530百万円（前連結会計年度末比162百万円増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、1,805百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、470百万円となりました。その主な要因は、売上債権の減少による増加が868百万円、税金等調整前四半期純利益435百万円、仕入債務の減少765百万円、法人税等の支払による支出165百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、△453百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出445百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、318百万円となりました。その主な要因は、借入金の返済による支出が1,463百万円、借入れによる収入1,956百万円、配当金の支払額153百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、非連結子会社でありました神之東塗料貿易（上海）有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428	1,838
受取手形及び売掛金	8,284	7,396
商品及び製品	1,885	1,929
原材料及び貯蔵品	617	622
その他	297	348
貸倒引当金	△37	△38
流動資産合計	12,475	12,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,419	2,392
機械装置及び運搬具(純額)	846	901
土地	16,247	16,247
その他(純額)	225	387
有形固定資産合計	19,739	19,928
無形固定資産	385	362
投資その他の資産		
投資有価証券	1,564	1,690
その他	711	698
貸倒引当金	△29	△43
投資その他の資産合計	2,246	2,345
固定資産合計	22,371	22,636
資産合計	34,847	34,732
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,255	6,500
短期借入金	3,397	3,867
未払法人税等	164	177
賞与引当金	215	224
役員賞与引当金	15	7
その他	1,037	1,004
流動負債合計	12,086	11,782
固定負債		
長期借入金	1,985	2,040
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
退職給付引当金	1,187	1,170
役員退職慰労引当金	8	7
その他	653	644
固定負債合計	8,391	8,419
負債合計	20,478	20,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	3,854	3,896
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,692	6,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	45
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	△47	35
その他の包括利益累計額合計	7,259	7,364
少数株主持分	415	432
純資産合計	14,368	14,530
負債純資産合計	34,847	34,732

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,609	11,585
売上原価	9,072	9,203
売上総利益	2,536	2,381
販売費及び一般管理費		
発送費	285	303
広告宣伝費及び販売促進費	49	91
従業員給料及び手当	473	494
賞与引当金繰入額	98	104
退職給付費用	68	63
減価償却費	74	77
試験研究費	75	94
その他	767	778
販売費及び一般管理費合計	1,892	2,009
営業利益	644	371
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	9
受取賃貸料	15	11
持分法による投資利益	96	94
その他	5	14
営業外収益合計	128	129
営業外費用		
支払利息	16	12
投資有価証券評価損	9	0
その他	8	10
営業外費用合計	33	23
経常利益	738	478
特別損失		
固定資産除却損	2	5
支払補償費	—	37
特別損失合計	2	42
税金等調整前四半期純利益	736	435
法人税等	257	171
少数株主損益調整前四半期純利益	478	264
少数株主利益	43	37
四半期純利益	434	226
少数株主利益	43	37
少数株主損益調整前四半期純利益	478	264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	20
為替換算調整勘定	—	20
持分法適用会社に対する持分相当額	12	62
その他の包括利益合計	14	104
四半期包括利益	492	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	447	325
少数株主に係る四半期包括利益	44	43

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	736	435
減価償却費	239	266
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15	△17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払利息	16	12
為替差損益 (△は益)	—	12
持分法による投資損益 (△は益)	△96	△94
投資有価証券評価損益 (△は益)	9	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
有形固定資産除却損	2	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△235	868
たな卸資産の増減額 (△は増加)	97	△48
仕入債務の増減額 (△は減少)	277	△765
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8	△6
その他	△0	△60
小計	1,052	614
利息及び配当金の受取額	37	35
利息の支払額	△15	△13
法人税等の支払額	△355	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー	718	470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△169	△445
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の売却による収入	—	3
子会社出資金の取得による支出	△65	—
子会社株式の取得による支出	△30	—
長期貸付けによる支出	△0	△1
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△15	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	456
短期借入金の返済による支出	△700	△300
長期借入れによる収入	900	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,017	△1,163
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△123	△153
少数株主への配当金の支払額	△15	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	318
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18	328
現金及び現金同等物の期首残高	1,275	1,395
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	80
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,257	1,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,672	936	11,609	11,609
セグメント利益	734	3	738	738

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	738
四半期連結損益計算書の経常利益	738

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,705	879	11,585	11,585
セグメント利益又は損失(△)	479	△1	478	478

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	478
四半期連結損益計算書の経常利益	478

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。